

あなたの声を、  
つなぐ、叶える。



札幌市議会議員

# むらまつ 叶啓

やすひる

政務調査だより **北区**



## 安全・安心に暮らせるまちへ

### ごあいさつ

能登半島地震で被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。今回の震災は私たち市民が改めて防災について考えるきっかけにもなりました。このほど発表された札幌市の新年度予算には避難所で必要な食料や日用品、ストーブ等の備蓄、気象データを使った災害予測システム導入、本庁舎が被災した場合の災害対策本部代替施設整備などが盛り込まれましたが、引き続き、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

また、予算には中学生までの医療費無償化拡充、第2子以降の保育料無償化をはじめとする子育て世帯の負担軽減、GX投資や

脱炭素化の推進、物価高騰対策などのほか、空き家対策や老朽マンション建て替え促進に向けた支援強化などが含まれ、2月開会の定例会へ提出されました。

昨年の選挙では地域の皆さまの力をお借りし、3度目の当選を果たさせていただき、市議会の経済観光委員長として地域の発展のために尽力してきました。今後も札幌の可能性を最大限に引き出し、確かな未来を築いてまいる決意です。変わらぬご指導をお願い申し上げます。

札幌市議会議員 **村松 叶啓**

## 「住んでよかった」と 思える地域へ 篠路駅周辺まちづくりの推進に全力

JR篠路駅周辺では、札幌市の「篠路駅周辺地区まちづくり実施計画」に基づき、土地区画整理、鉄道高架、周辺道路の拡幅・バリアフリー化などが進められていますが、東口駅前前の整備や市有地の活用などが課題となっています。地域の交流拠点にふさわしいまちづくりに向けて、新たなまちづくり計画(計画期間10年間)が令和5年2月に策定され、6年度予算にも1,600万円が計上されました。

将来的には札幌市全体で人口減少が進むと予測されており、生活関連サービスの縮小、住民組織の担い手不足などを見据えたまちづくりを考えることが重要です。現在、駅前街区や市有地の土地利用についての検討が進められており、篠路をホームタウンとする私、村松叶啓としましても、誰もが「篠路に住んでよかった」と思える笑顔のまちを目指して、全力で計画の推進に努めてまいります。



### まちづくり計画の概要

**基本理念** 誰もが暮らしやすく  
笑顔あふれるまち

### 実現に向けた展開



- 1 駅前街区の利活用**  
東口駅前広場を含む交流拠点づくり
- 2 市有地A・B・Cの利活用**  
民間活力を導入し商業・福祉機能を強化
- 3 地域主体のまちづくり活動**  
多世代が交流できるコミュニティを創出

**村松叶啓のプロフィール** 昭和50年、札幌市北区生まれ。篠路小学校、上篠路中学校、北海高校、東京工科大学建築工学科卒業後、札幌市内の民間企業で15年間建築業に従事。平成27年札幌市議会議員に初当選。3期目。札幌市議会総務委員長、文教委員長、経済観光委員長、札幌市議会自民党議員会副幹事長などを歴任。現在、財政市民委員、総合交通政策調査特別委員。趣味/愛犬との散歩、釣り

札幌市議会議員  
**村松叶啓**  
事務所

〒002-8022 札幌市北区篠路2条7丁目5-22  
TEL: (011)774-6913 FAX: (011)788-3920  
E-mail: info@m-muramatsu.com



ホームページ

Facebook

Instagram



## 札幌の未来を変える第一歩

# 2024年度札幌市予算の概要

一般会計

1兆2,417億円

全会計予算

1兆9,310億円



昨年12月14日、東京で中央省庁や道内選出国會議員に新年度予算について要望

私が所属する札幌市議会自由民主党議員会では、コロナ禍を経て再び動き出した社会経済活動を加速させる新たなまちづくりの推進に向けて、国や札幌市に対する要望活動を行ってきました。このほど、札幌市が発表した2024年度の一般会計予算案は1兆2,417億円(対前年度比0.2%減)となり、①子ども・子育て支援 ②GX・脱炭素、経済活性化 ③ウェルネス(健康)、ユニバーサル(共生) ④安全・安心 ⑤物価高騰・人材確保・育成の5項目に重点配分されました。子どもから高齢者まであらゆる世代が安全・安心、快適に暮らせるまちの実現に向けて全力で市政課題に取り組んでいきます。

### 子育て・教育

- ・中学生の通院費など医療助成 ..... 111億9,600万円
- ・第2子以降の保育料無償化 ..... 4億6,000万円
- ・学校や保育施設への冷房設備費 ..... 15億1,700万円
- ・スクールカウンセラーの配置、時間延長などいじめ対策の拡充 ..... 4億4,100万円

### GX・経済活性化

- ・GX投資の推進 ..... 1億8,300万円
- ・水素利活用促進 ..... 2億2,600万円
- ・市有施設への太陽光発電設置準備など脱炭素化の取り組み ..... 11億7,300万円
- ・人手不足対策、人材育成 ..... 22億3,500万円
- ・新幹線札幌駅東改札口の実施設設計など ..... 2億4,200万円

### 市民生活・福祉

- ・救急医療の体制強化 ..... 19億4,700万円
- ・高齢者健康寿命延伸 ..... 7億2,600万円
- ・市有施設や宿泊施設のバリアフリー化 ..... 56億1,900万円



### 市民生活を守る物価高騰対策を推進

総額502億円

物価高騰が経済に大きな影響を及ぼしていることを受け、国民の負担緩和及びデフレ脱却のための施策や物価高に切実に苦しんでいる低所得者への支援の強化に取り組んできました。新年度予算には、地域経済の活性化を目的としたプレミアム付き商品券の新規発行、低所得者への給付な対策を講じていきます。

#### 【追加対策の内容】

- ①札幌生活応援プレミアム商品券の発行
- ②住民税非課税世帯に対し1世帯当たり7万円支給
- ③定額減税(1人あたり4万円)に満たない低所得者などへ給付金支給



### 市立幼稚園・学校にエアコンを整備

15億1,700万円

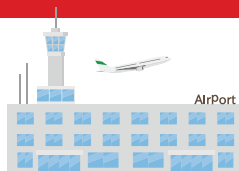
記録的な猛暑により学校現場での暑さ対策が急務であるため、令和5年9月、市に対し施設整備に関する緊急要望書の提出、国に対し財源確保に向けた要望活動を行いました。

市は、今年の夏までに全ての学校の保健室にルームエアコンを設置するとともに、2027年度末までに全ての市立幼稚園・学校の普通教室にルームエアコンを設置するとしてきました。さらに、小学校の暑さ対策を踏まえた長期休業期間の考え方についても指摘し、中学校と同様、夏休み30日間、冬休み20日間と決定しました。保育所、認定こども園、児童会館等に対しても冷房設備補助金を交付します。



### 丘珠空港周辺のまちづくりを推進

8,600万円



市は昨年8月、丘珠空港の「滑走路延伸の2030年供用開始」を表明し、国への要望を行いました。滑走路が1,800mになれば冬季の離着陸の安全性が高まり、小型ジェット機の通年運航が可能となります。また、市が昨年11月に示した案では、丘珠と結ぶ道外路線を10程度に拡大するとしてきました。

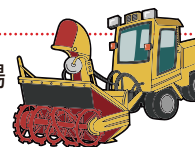
市では滑走路延伸の2030年供用開始という年次目標に合わせ、旅客数の増加が見込まれる空港ターミナルビルの拡張、空港周辺の土地利用の在り方など、まちづくりについての検討を加速させています。当議員会においても、経済活性化や防災機能強化などの面で大きな可能性を持つ丘珠空港の利活用を全力で進めていきます。

### 除排雪の強化に向け予算を確保

275億6,400万円

#### 【道路除排雪】

市民の冬の暮らしを守るため、計画的な除排雪と雪堆積場の管理に加え、道路状況や降雪状況に応じて臨機に対応



#### 【持続可能な雪対策】

- ・除雪作業日報等の電子化や、1人乗り可能な除雪車の確保による除排雪作業の効率化・省力化
- ・広報啓発による担い手確保、市民・企業との協働の取り組みなどを引き続き推進

#### 【雪対策施設整備】

東部水再生プラザの処理水を活用した新たな融雪施設の整備(R7年度試験運用・R8年度本格運用予定)